



☆各班で第2回野外レク実施 — レポート①☆

本年度第2回の野外レクリエーションが12月から1月にかけて企画・実施されました。3年生にとっては大学最後のイベントとなりますが、有意義な時間を過ごせたのではないのでしょうか。各班からのレポートを随時、報告します。

◎1班 実施日：12月2日(火) 見学場所：造幣局広島支局

1班は、日頃何気なく使っているお金の裏側を探るシリーズとして、第1回は日本銀行広島支店(7/15)、そして今回は造幣局を見学しました。

造幣局で作られた新しい硬貨は、すべて日本銀行に渡されて世の中に流通します。また、使用できなくなった硬貨は日銀から造幣局に戻され、素材ごとに铸潰してリサイクルされるのだそうです。硬貨も資源として再利用されることも学びました。

今回の造幣局見学では、「お金のモノづくり」に触れました。金属の塊から、わずかな誤差も許されない高い精度で硬貨ができあがっていく工程は、まさに技術の結晶です。例えば、丸い金属板に、瞬時に表裏の模様を打ち込む「圧印」の工程は技術の進歩により自動化されていました。偽造を防ぐための細かな刻印や、額面によって異



なる「縁(ふち)」の加工技術は、世界でもトップレベルだと伺いました。普段、何気なく手にしている硬貨一つ一つが、このような高度な技術によって作られているのだと思うと、改めて日本の技術力の高さを実感しました。

当日(12/2)の見学参加者は20名。終了後は、すぐに食事処へ移動し、さらに3名が合流して賑やかな懇親会となりました。

(文化部1年 森口 宗実)

◎3班 実施日：12月4日(木) 見学場所：広島市環境局中工場

3班は、12月4日に広島市環境局中工場に社会見学にいきました。今年初めての寒さにふるえる中訪れたこの場所は、目をみはるほど近未来的で素敵でした。平和記念公園前から南へ延長した軸線の先に、この敷地が広がっています。説明を聞きながら、日常生活で発生するごみの処理について、いろいろと考えさせられる一日でした。最新の技術を駆使し、公害防止と環境対策への配慮、焼却するときの熱エネルギー



ーを利用し工場内での冷暖房をまかなうなど、微細にわたる配慮がされていました。

普段は小学校の社会見学に利用されることがあり、ゴミを集める大きなクレーンに歓声があがったり、(それをおひとりで操作されています)、ゴミ収集車の展示では、「その金額(約400万円)に子どもたちはびっくりします」と伺いました。もちろんわれわれシニアも・・・でした。



見学後は場所を変え、安佐南区の「おとぎや」で、全員美味しい料理・アルコールに舌鼓をうち、談笑に花が咲き、3班のきずながますます深まった一日でした。

(文化部3年 山根 昌子)

「大山・とっとり花回廊」研修旅行を開催

…研修部主催



「シニア大学らしさ」をテーマに「大山・とっとり花回廊」への研修旅行を11月20日に実施しました。(参加者156名)

バス車内では、大学祭DVD・ビンゴゲーム・応援歌・ボール送りゲームなどで楽しみ、昼食は、「イタリアンフレンチのコース料理」を堪能しました。



その後は、野外にて、オカリナ・ウクレレの演奏を鑑賞し、フォークダンス・応援歌を全員参加で楽しみました。参加された皆さんの笑顔が印象に残った研修旅行でした。(研修部長 森分 陵司)